



宮崎県キャリア教育支援センター新体制スタート！

令和元年9月より、新しく3名のコーディネーターを加えた、計5名で、宮崎県キャリア教育支援センターの新体制がスタートしました。

宮崎県キャリア教育支援センターでは、学校が目指す社会に開かれた教育課程の実現に向けて、「よのなか教室」が円滑に実施できるよう支援を行います。

子供たちや保護者が、みやざきの様々な産業（企業）について理解を深めたり、みやざきで働く・生きる人の思いにふれたりするプログラムを提供してまいります。



水永 正憲 統括コーディネーター

企業で人材育成をしていましたが、7年前に退職して、学校を訪問するようになって、学校教育の「深さ」に気付きました。

子供たちに「将来を考える」機会を少しでも増やしてあげたい。子供たちの未来は可能性に満ちたワクワクするような世界だと伝えてあげたい。そう強く願っています。



西立野 康弘 コーディネーター

今回の増員により、キャリア教育支援センターとしての取組は、第3ステージに入りました。各市町村教育委員会、各学校、地域等と連携・協働しながら「みやざきの子供たちの未来づくり」のために、微力ながら、さらに邁進してまいります。

子供たちに未来を生きる能力を育成するために、がんばってまいります！



羽田野 祥子 コーディネーター

大学時代、東京に溢れている経験や出会いの数に圧倒され、地元との格差にショックを受けて教育や人材育成の分野に携わるようになりました。現場で日々奮闘されている先生方を少しでもお手伝いし、宮崎の子供たちの幸せに貢献できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



谷口 真里佳 コーディネーター

私の活動の原点は、高校生の時に参加した国際交流プログラムで世界各国の同世代と語り合い、多様な価値観に触れたことにあります。宮崎の子供たち一人一人が自分らしく生きられるサポートができるよう、これまでに培った経験や知識を活用できればと思っています。



黒木 順子 コーディネーター

県外出身であることを疑われるほど!?宮崎に馴染めたのは、地域の皆さんのおかげ。

年齢やフィールドを超えて生まれる化学反応で、子供たちがしなやかに生き成長する宮崎づくりのお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

中学生キャリアフォーラム開催！

8月17日（土）、宮崎県教育研修センターにおいて、中学生等を対象に、ふるさとや自分の生き方について「対話」をしながら考えるキャリアフォーラムを開催しました。当日は、保護者や一般の方、教育関係者にも参加いただき、約100名が参加して活発に意見を交換しました。

参加型トークセッション

＜ファシリテーター＞

NPO法人グローバルアカデミー 代表理事 田阪 真之介 氏

＜登壇者＞

株式会社 訪う 代表取締役社長 日高 葵 氏

宮崎大学 国際連携センター 准教授 伊藤 健一 氏

高千穂町役場 総合政策室 田崎 友教 氏



「Think globally , act locally & Think locally , act globally」をテーマに、ファシリテーターと3人の登壇者が、これまでの経験を語りました。宮崎のよさや、これまでになかった宮崎の価値を、自分で見つけて、日本や世界へ発信することの素晴らしさを伝えようとする4人の話を、中学生が、真剣に聞いていました。

意見交換では、「今の選択に後悔はないのですか？」「将来世界で活躍するために、今からできることはありますか？」という中学生からの質問に対し、登壇者が、「後悔をすることは、どの道を選んでもあったと思います。自分の選択に満足してます。」「自分のバックグラウンドを語れること、自分の意見をしっかりと伝えられるようになっておくことが大事です。」と本音で答えるなど、活発な意見が交わされました。

対話型アクティビティ「哲学対話」

東京大学 大学院 総合文化研究科 梶谷 真司 教授のご指導のもと、哲学対話を行いました。

哲学対話は、「ともに話すことを通して、共同で思考を広げ、深めていくこと」、「身近な問いから出発してグループで一緒に問い、考え、話をしていくこと」、「何を言ってもいい」「否定的なことを言わない」等のルールがあるということについて、説明がありました。



哲学対話は、会場の大人も巻き込み、10人前後のグループをつかって行われました。アイスブレイクの後、テーマにした問いを出し合い、ファシリテーターが進行していきました。

問いに決まったのは、「なぜ友達が必要なのか？」「どうして校則を守らないといけないのか？」等の素朴な中学生ならではの内容でした。

グループでは、子供も大人も関係なく、問いについて深く考え、分かり易く伝えようとする姿が見受けられました。

参加者からは、「宮崎で世界を視野に働いている大人がいることが分かってよかった。」「普段会うことのない大人や他校の生徒と意見交換ができてよかった。」等の意見が寄せられました。

